

エキスパンダーを用いた乳房再建における感染リスク因子解析

①対象

2013年7月以降当院にてエキスパンダーを用いて乳房再建を受けた方

②研究機関名

大阪大学医学部附属病院 形成外科（責任者：富田興一）

③目的と意義

エキスパンダーを用いて乳房再建を行う患者さんは年々増加しています。しかし、人工物を用いた乳房再建の最大の問題点は感染です。一度感染が起こると、最悪の場合では挿入したエキスパンダーを抜去せねばならず、患者さんの生活の質（QOL）を著しく低下させてしまいます。このような患者さんを把握してその原因を明らかにし、対策を講じることで感染率を低下させることにつながると考えています。

④方法

エキスパンダーを用いて乳房再建を行った患者さんの診療録から必要な情報を収集し解析を行います。新たに追加で検査を行うことはありません。診療録は全て個人が特定できないように匿名化して使用します。自分の診療録を研究に使わないでほしいという希望がありましたら、担当医までご相談ください。ご不明な点がありましたら、いつでも主治医にご相談ください。

⑤プライバシー

本研究では、名前や住所などの個人情報を使用しません。

⑥問い合わせ先

研究責任医師： 形成外科 助教 富田 興一

連絡先： 大阪大学医学部附属病院 06-6879-5530